

# 出生数の増加が続く

～平成21年 住民基本台帳に基づく人口～

今号の特集では、福岡市における平成21年9月末現在の住民基本台帳に基づく人口及び平成21年の人口動態の状況をご紹介します。

人口、世帯数ともに、毎年増加を続けていますが、人口の伸びを世帯数の伸びが上回っているため、1世帯当たり人員は、減少が続いています。(表1, 図1)

## 1. 住民基本台帳に基づく人口

### (1) 概要

人口は前年に比べ 11,454人、0.8%の増加

住民基本台帳に基づく平成21年9月末現在の福岡市の人口は1,394,017人で、前年(平成20年9月末現在)に比べ11,454人増加し、増加率は0.8%となっています。

世帯数は662,040世帯で、前年に比べ9,758世帯の増加、増加率1.5%となっており、人口の増加率を上回っています。

性別に見ると、男性は662,176人で、前年比5,378人(増加率0.8%)の増加、女性は731,841人で、前年比6,076人(同0.8%)の増加となっています。女性を100としたときの男性の割合を示す「性比」は、年々下降を続けていましたが、今回は前年と同じ90.5となっています。

1世帯当たり人員は2.11人で、前年比0.01人の減少となりました。

### 「住民基本台帳に基づく人口」とは…

「住民基本台帳に基づく人口」とは、福岡市に住民登録をしている人を集計したもので、外国人登録人口を含みません。

また、毎月1日現在で公表している「推計人口」とは、平成17年国勢調査人口に、毎月の住民基本台帳人口と外国人登録人口の異動を加減したものです。

図1 人口及び1世帯当たり人員の推移

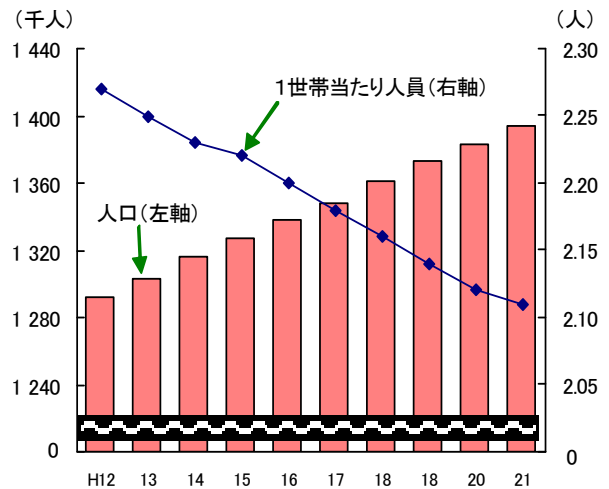


表1 世帯数, 人口等の推移

年	世帯数		人口		男	女	性比	1世帯当たり人員
	前年増加率	前年増加率	前年増加率	前年増加率				
平成12年	569 340	1.6	1 291 542	0.7	619 940	671 602	92.3	2.27
13年	579 166	1.7	1 303 253	0.9	624 601	678 652	92.0	2.25
14年	589 349	1.8	1 316 222	1.0	630 069	686 153	91.8	2.23
15年	598 954	1.6	1 327 099	0.8	634 863	692 236	91.7	2.22
16年	608 510	1.6	1 337 576	0.8	639 168	698 408	91.5	2.20
17年	618 034	1.6	1 347 823	0.8	642 842	704 981	91.2	2.18
18年	630 866	2.1	1 361 060	1.0	648 387	712 673	91.0	2.16
19年	642 514	1.8	1 372 840	0.9	652 935	719 905	90.7	2.14
20年	652 282	1.5	1 382 563	0.7	656 798	725 765	90.5	2.12
平成21年	662 040	1.5	1 394 017	0.8	662 176	731 841	90.5	2.11

各年9月末現在

(2) 行政区別人口  
博多区が世帯数、人口とも大きく増加

行政区別に見ると、7区の中で東区が人口、世帯数ともに最も多く、人口は275,663人、世帯数は125,028世帯となっています。

人口、世帯数ともに最も少ないのは城南区で、人口121,125人、世帯数56,102世帯となっています。

平成20年に比べ、世帯数はすべての区で増加していますが、人口は6区で増加し、城南区はわずかに減少しています。

人口の増加が最も大きいのは博多区で、3,930人増加、ついで東区が2,935人増加となっており、この2つの区で福岡市全体の増加分の60%を占めています。

性比を見ると、中央区が78.9と他の区に比べて女性の割合が高くなっているのに対し、東区は94.7、博多区は94.9と他の区に比べ男性の割合が高くなっています。

1世帯当たり人員を見ると、最も多いのは西区の2.39人で、以下、早良区(2.30人)、東区(2.20人)と続き、都心部に位置する

中央区(1.77人)と博多区(1.81人)は、福岡市全体(2.11人)を下回っています。

(表2)

(3) 年齢別人口  
年少人口の構成比は変わらず

老年人口は増加

年齢別の構成比を見ると、福岡市全体の0～14歳の「年少人口」の構成比は14.0%で、4年連続同じ割合となっています。

しかし、15～64歳の「生産年齢人口」が68.8%と前年に比べ0.4ポイント減少、65歳以上の「老年人口」が17.2%で0.4ポイント増加しており、引き続き高齢化が進んでいます。

行政区別に見ると、年少人口の割合が高いのは西区、早良区及び東区、老年人口の割合が高いのは城南区、南区及び西区となっています。

博多区と中央区では生産年齢人口の割合が高く、年少人口と老年人口の割合が低いことが分かります。(表3)

表2 行政区別世帯数及び人口

市区	平成20年		平成21年					各年9月末現在				
	世帯数	人口	世帯数	人口	性比		1世帯当たり人員	増減		人口	前年比	
					男	女		世帯数	前年比			
福岡市	652 282	1 382 563	662 040	1 394 017	662 176	731 841	90.5	2.11	9 758	1.5	11 454	0.8
東区	122 998	272 728	125 028	275 663	134 090	141 573	94.7	2.20	2 030	1.7	2 935	1.1
博多区	104 015	190 031	107 365	193 961	94 460	99 501	94.9	1.81	3 350	3.2	3 930	2.1
中央区	91 420	162 067	92 121	162 892	71 841	91 051	78.9	1.77	701	0.8	825	0.5
南区	110 905	242 327	111 976	243 213	114 630	128 583	89.1	2.17	1 071	1.0	886	0.4
城南区	56 045	121 213	56 102	121 125	57 794	63 331	91.3	2.16	57	0.1	△ 88	△ 0.1
早良区	90 345	209 179	91 032	209 505	99 618	109 887	90.7	2.30	687	0.8	326	0.2
西区	76 554	185 018	78 416	187 658	89 743	97 915	91.7	2.39	1 862	2.4	2 640	1.4

表3 年齢別(3区分)人口

区分	平成21年9月末現在							
	福岡市	東区	博多区	中央区	南区	城南区	早良区	西区
総数	1 394 017	275 663	193 961	162 892	243 213	121 125	209 505	187 658
0～14歳	195 287	41 068	23 475	18 232	34 079	16 632	31 808	29 993
15～64歳	958 622	187 286	139 669	118 881	165 284	82 371	141 376	123 755
65歳以上	240 108	47 309	30 817	25 779	43 850	22 122	36 321	33 910
構成比(%)								
0～14歳	14.0	14.9	12.1	11.2	14.0	13.7	15.2	16.0
15～64歳	68.8	67.9	72.0	73.0	68.0	68.0	67.5	65.9
65歳以上	17.2	17.2	15.9	15.8	18.0	18.3	17.3	18.1

**(4) 世帯員数別世帯数**  
世帯の44.8%が1人世帯

世帯員数別に世帯数を見ると、福岡市全体では、1人世帯の割合が44.8%と平成20年と比べ0.4ポイント増加しています。

また、2人世帯の割合は23.0%（平成20年に比べ0.1ポイント増加）で、市内の3分の2の世帯が2人以下の世帯ということになります。

一方で、3人以上の世帯の割合は32.3%で、平成20年に比べ0.4ポイント減少しています。

行政区別に見ると、都心部に位置する中央区と博多区は1人世帯の割合が半数を超え、3人以上世帯の割合が低くなっています。

これとは対照的に、西区と早良区は3人以上世帯の割合が高く、1人世帯の割合が低くなっています。

年齢別と併せて見ると、都心部では若い人の1人世帯が多く、周縁部では子供や老人を含めた家族構成の世帯が多いと考えられます。（表4、図2）

**(5) 小学校区別人口**  
照葉校区の人口が大幅に増加

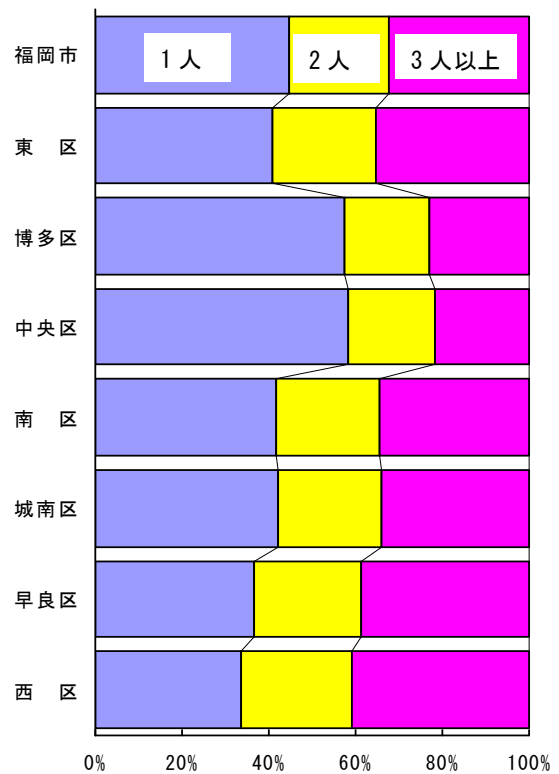
小学校通学区域別に見ると、人口が最も多いのは、平尾校区（中央区）の20,617人で、以下、那珂校区（博多区）19,620人、博多校区（博多区）18,156人、香住丘校区

（東区）16,552人、松島校区（東区）16,548人と続きます。

人口が最も少ないのは、曲渕校区（早良区）の196人で、次いで小呂校区（西区）210人、勝馬校区（東区）293人となっています。人口増加数が一番多かった校区は、開発の進む照葉小学校がある照葉校区（772人増）です。

世帯数は、博多校区（博多区）11,987世帯、平尾校区（中央区）11,344世帯、警固校区（中央区）9,570世帯、那珂校区（博多区）9,515世帯、春吉校区（中央区）8,304世帯の順となっています。（表5）

**図2 世帯員数別世帯数**



**表4 世帯員数別世帯数**

市区	世帯数	世帯人員 (世帯)										構成比 (%)		
		1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人以上	1人	2人	3人以上			
福岡市	662 040	296 322	152 100	101 073	81 066	25 044	4 836	1 599	44.8	23.0	32.3			
東区	125 028	50 858	29 889	20 602	16 914	5 417	1 048	300	40.7	23.9	35.4			
博多区	107 365	61 890	20 921	12 361	8 827	2 656	518	192	57.6	19.5	22.9			
中央区	92 121	53 780	18 279	10 579	7 168	1 886	330	99	58.4	19.8	21.8			
南区	111 976	46 635	26 977	17 962	14 694	4 607	852	249	41.6	24.1	34.3			
城南区	56 102	23 706	13 255	8 994	7 391	2 293	368	95	42.3	23.6	34.1			
早良区	91 032	33 204	22 675	16 207	13 800	4 095	791	260	36.5	24.9	38.6			
西区	78 416	26 249	20 104	14 368	12 272	4 090	929	404	33.5	25.6	40.9			

表5 福岡市小学校区別世帯数及び人口

平成21年9月末現在

区・小学校区名	世帯数	校区人口	区・小学校区名	世帯数	校区人口	区・小学校区名	世帯数	校区人口
<b>福岡市合計</b>	<b>662 040</b>	<b>1 394 017</b>	春吉	8 304	11 044	原西	4 813	10 982
<b>東区</b>	<b>125 028</b>	<b>275 663</b>	草ヶ江	6 987	13 526	原北	3 085	7 626
馬出	5 573	9 173	平尾	11 344	20 617	飯倉	4 413	9 888
宮松	6 834	12 446	高宮	7 295	10 978	賀茂	4 507	9 926
箱崎	7 131	12 533	赤坂	5 908	10 473	有田	4 478	10 718
香椎	4 953	10 307	南当仁	8 049	15 264	野芥	5 001	11 731
多々良	6 195	13 452	笹丘	5 473	11 806	大原	3 987	8 655
名島	6 409	14 872	舞鶴	4 390	6 705	四箇田	3 481	8 481
香住丘	8 004	16 552	小笹	6 259	14 645	飯原	2 949	7 055
和白	4 762	11 158	福浜	2 769	5 676	有住	2 482	4 966
千早	3 218	7 382	鳥飼 *	300	686	田村	4 027	9 766
城浜	2 318	4 028	<b>南区</b>	<b>111 976</b>	<b>243 213</b>	飯倉中央	2 302	5 484
若宮	4 322	9 745	三宅	7 755	15 706	小田部	3 413	9 213
勝馬	105	293	花畑	3 965	9 527	百道浜	2 944	7 659
志賀島	732	1 790	玉川	8 030	14 700	脇山	996	2 573
西戸崎	2 567	5 949	西高宮	7 570	15 970	内野	2 709	6 837
美和台	6 466	15 697	日佐	2 842	6 881	曲渕	76	196
八田	2 986	6 985	宮竹 *	6 059	12 229	入部	3 014	7 607
和白東	5 216	12 343	大楠	6 085	9 337	早良	1 539	3 856
舞松原	4 061	9 956	若久	4 823	10 775	<b>西区</b>	<b>78 416</b>	<b>187 658</b>
香椎東	5 554	13 596	老司	3 670	8 641	姪浜	6 106	13 376
青葉	4 567	12 431	長住	3 602	8 495	壱岐	5 974	15 841
奈多	3 996	9 290	筑紫丘	4 446	9 382	能古	351	784
香椎浜	2 376	5 524	西花畑	4 964	11 884	内浜	6 652	13 695
香椎下原	6 112	13 011	弥永	3 112	6 788	金武	1 691	4 858
千早西	3 045	6 930	東花畑	4 001	9 176	下山門	3 832	9 287
東箱崎	3 163	6 813	長丘	4 101	10 738	壱岐南	4 019	10 169
香陵	1 745	4 780	西長住 *	1 770	4 054	西陵	2 638	5 623
松島	7 919	16 548	弥永西	3 509	8 402	壱岐東	2 261	4 958
三苦	3 616	8 895	東若久	3 306	7 632	石丸	4 606	11 624
照葉	1 083	3 184	鶴田	2 957	7 455	愛宕	5 514	12 229
<b>博多区</b>	<b>107 365</b>	<b>193 961</b>	野多目	4 697	11 780	福重	3 566	8 270
博多	11 987	18 156	高木	4 214	8 024	城原	3 223	7 997
住吉	5 206	7 148	大池	3 525	8 070	愛宕浜	2 567	7 231
堅粕	6 352	9 098	塩原	5 862	10 530	姪北	4 842	9 825
千代	6 216	8 978	柏原	3 546	9 282	今宿	4 847	11 723
吉塚	5 584	10 066	横手	3 565	7 755	今津	1 434	3 137
東住吉	5 469	7 540	<b>城南区</b>	<b>56 102</b>	<b>121 125</b>	周船寺	5 262	13 190
席田	2 883	6 249	西長住 *	837	2 025	元岡	4 200	10 983
月隈	3 687	7 991	長尾	5 985	13 144	北崎	560	1 650
春住	5 193	8 337	鳥飼 *	3 977	9 038	北崎小西浦分校	348	1 111
板付	6 569	14 112	別府	7 479	15 216	玄界	234	565
那珂	9 515	19 620	七隈	6 166	12 537	小呂	65	210
那珂南	6 733	12 810	堤	4 357	10 454	玄洋	3 624	9 322
東光	4 416	7 414	城南	6 416	14 067	<b>複数区にまたがる小学校区の合算</b>		
東吉塚	5 419	10 024	金山	3 800	7 455	宮竹【合算】	7 745	15 980
美野島	5 759	9 647	片江	5 782	11 796	西長住【合算】	2 607	6 079
板付北	3 343	7 500	南片江	3 651	8 570	鳥飼【合算】	4 277	9 724
東月隈	3 570	8 516	田島	4 884	10 853			
三筑	5 669	12 095	堤丘	2 768	5 970			
弥生	2 109	4 909	<b>早良区</b>	<b>91 032</b>	<b>209 505</b>			
宮竹 *	1 686	3 751	西新	7 420	15 340			
<b>中央区</b>	<b>92 121</b>	<b>162 892</b>	原	4 459	10 215			
大名	3 027	4 336	高取	7 473	15 281			
当仁	7 204	13 504	百道	3 217	7 207			
箕子	5 242	8 010	田隈	3 408	7 547			
警固	9 570	15 622	室見	4 839	10 696			

※ 本表及び次ページ以降の統計表は、福岡市教育委員会が公表している「市立小中学校の通学区域」に基づいて、住民基本台帳に登録された人の住所地を各小学校区に振り分け、集計したものです。

※ 小学校名欄に「\*」印を付した学校は、校区が複数行政区にまたがっているため、小学校区単位の数値は本表末尾に合算した値を示しています。

## 2. 人口動態

### (1) 自然動態

#### 出生数の伸びが続き、死亡数も減少

平成21年（1～12月）の自然動態（出生と死亡の数）は、出生数14,207人、出生率（人口1,000人当たりの出生数）10.19‰（パーミル）、死亡数9,341人、死亡率（同死亡数）6.70‰で、自然増加数は両者の差4,866人、自然増加率（同自然増加数）は3.49‰となっています。

平成20年と比較すると、出生数は昨年より230人増加し（前年比1.6%増）、4年連続で増加しています。

また、平成14年以降増加を続けていた死亡数が313人減少（同3.2%減）となった結果、自然増加数は平成20年の4,323人から543人増加しました。

行政区別に見ると、東区が出生数2,892人、死亡数1,908人、自然増加数984人で、昨年より増加数は115人減少したものの、なお、全区で最も多くなっています。

また、東区、城南区以外の5区で、昨年より出生数が増加し、死亡数が減少したことから、自然増加率が上昇しています。

（表6・7、図3）

図3 自然増加数, 出生数, 死亡数及び自然増加率の推移

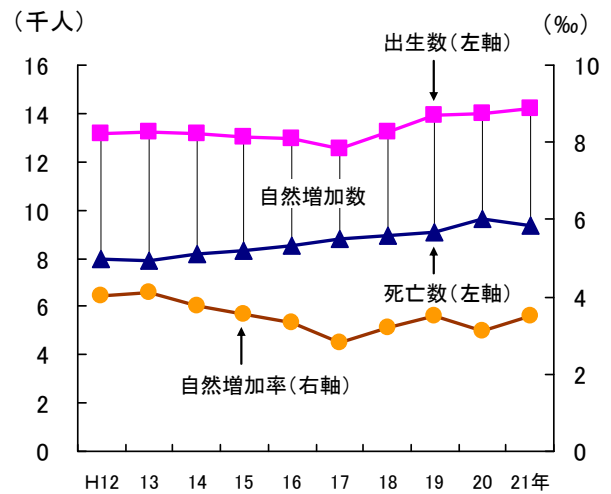


表6 自然増加数, 出生数, 死亡数及び自然増加率の推移

年	自然増加数 人	出生数 人	死亡数 人	自然増加率 ‰
平成12年	5 186	13 158	7 972	4.02
13年	5 366	13 243	7 877	4.12
14年	4 959	13 135	8 176	3.77
15年	4 706	13 024	8 318	3.55
16年	4 468	12 978	8 510	3.34
17年	3 780	12 542	8 762	2.8
18年	4 340	13 255	8 915	3.19
19年	4 817	13 921	9 104	3.51
20年	4 323	13 977	9 654	3.13
平成21年	4 866	14 207	9 341	3.49

表7 自然動態

市区	平成20年			平成21年					
	自然増加数 人, ‰	出生数 人, ‰	死亡数 人, ‰	自然増加数 人, ‰	前年比 %	出生数 人, ‰	前年比 %	死亡数 人, ‰	前年比 %
福岡市	4 323 (3.13)	13 977 (10.11)	9 654 (6.98)	4 866 (3.49)	12.6	14 207 (10.19)	1.6	9 341 (6.70)	△ 3.2
東区	1 099 (4.03)	3 005 (11.02)	1 906 (6.99)	984 (3.57)	△ 10.5	2 892 (10.49)	△ 3.8	1 908 (6.92)	0.1
博多区	682 (3.59)	2 077 (10.93)	1 395 (7.34)	840 (4.33)	23.2	2 185 (11.27)	5.2	1 345 (6.93)	△ 3.6
中央区	436 (2.69)	1 477 (9.11)	1 041 (6.42)	523 (3.21)	20.0	1 523 (9.35)	3.1	1 000 (6.14)	△ 3.9
南区	683 (2.82)	2 401 (9.91)	1 718 (7.09)	785 (3.23)	14.9	2 406 (9.89)	0.2	1 621 (6.66)	△ 5.6
城南区	289 (2.38)	1 098 (9.06)	809 (6.67)	287 (2.37)	△ 0.7	1 097 (9.06)	△ 0.1	810 (6.69)	0.1
早良区	588 (2.81)	2 019 (9.65)	1 431 (6.84)	779 (3.72)	32.5	2 143 (10.23)	6.1	1 364 (6.51)	△ 4.7
西区	546 (2.95)	1 900 (10.27)	1 354 (7.32)	668 (3.56)	22.3	1 961 (10.45)	3.2	1 293 (6.89)	△ 4.5

注) ( )内は、各年9月末現在の人口1,000人当たりの自然増加数, 出生数, 死亡数。

## (2) 社会動態（市外移動）

### 5,067人の転入超過

平成21年の社会動態（市外との転出入の数）は、転入者数72,862人、転入率（人口1,000人当たりの転入者数）52.27‰、転出者数67,795人、転出率（同転出者数）48.63‰で、社会増加数は両者の差5,067人、社会増加率（同社会増加数）は3.63‰となっています。

平成20年と比較すると、転入者数は1,563人減少、転出者数は1,583人減少と、共に減少しました。

なお、社会増（転入者数が転出者数を上回る）の状態は平成8年以降続いています。

行政区別に見ると、転入者、転出者共に最も多いのは博多区で、次いで東区となっています。また、南区では転出者数が転入者数を上回り、社会動態は309人の減少となっています。

各区の人口増加の内訳を見ますと、博多区、中央区など都心部では社会増加数の割合が高く、周辺の区では自然増加数の割合が高くなっています。（図4・5、表8）

福岡市の人口の詳細については、福岡市ホームページをご覧ください。

【福岡市の統計情報ホームページ】

<http://www.city.fukuoka.lg.jp/shisei/toukei/index.html>

図4 行政区別転入、転出者数

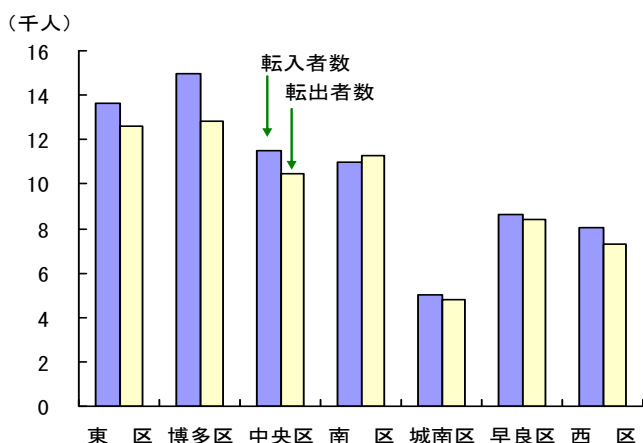


図5 人口動態の構成

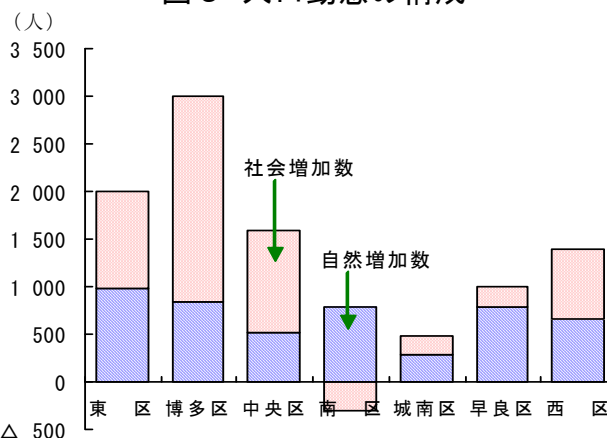


表8 社会動態（市外移動）

市区	平成20年			平成21年					
	社会増加数	転入者数	転出者数	社会増加数	前年比	転入者数	前年比	転出者数	前年比
	人, ‰	人, ‰	人, ‰	人, ‰	%	人, ‰	%	人, ‰	%
福岡市	5 047 (3.65)	74 425 (53.83)	69 378 (50.18)	5 067 (3.63)	0.4	72 862 (52.27)	△ 2.1	67 795 (48.63)	△ 2.3
東区	818 (3.00)	13 875 (50.87)	13 057 (47.88)	1 008 (3.66)	23.2	13 606 (49.36)	△ 1.9	12 598 (45.70)	△ 3.5
博多区	2 545 (13.39)	15 400 (81.04)	12 855 (67.65)	2 163 (11.15)	△ 15.0	14 999 (77.33)	△ 2.6	12 836 (66.18)	△ 0.1
中央区	1 470 (9.07)	12 122 (74.80)	10 652 (65.73)	1 071 (6.57)	△ 27.1	11 516 (70.70)	△ 5.0	10 445 (64.12)	△ 1.9
南区	△ 591 (△2.44)	10 868 (44.85)	11 459 (47.29)	△ 309 (△1.27)	△ 19.2	11 007 (45.26)	1.3	11 316 (46.53)	△ 1.2
城南区	61 (0.50)	5 299 (43.72)	5 238 (43.21)	193 (1.59)	216.4	5 018 (41.43)	△ 5.3	4 825 (39.83)	△ 7.9
早良区	243 (1.16)	8 982 (42.94)	8 739 (41.78)	222 (1.06)	△ 8.6	8 663 (41.35)	△ 3.6	8 441 (40.29)	△ 3.4
西区	501 (2.71)	7 879 (42.59)	7 378 (39.88)	719 (3.83)	43.5	8 053 (42.91)	2.2	7 334 (39.08)	△ 0.6

注) ( )内は、各年9月末現在の人口1,000人当たりの社会増加数、転入者数、転出者数。